[illegible]

彩雲●NAKAJIMA SAIUN CARRIER BONE RECONNAISSANCE

TAMIYA

11型(C6N1)MYRT

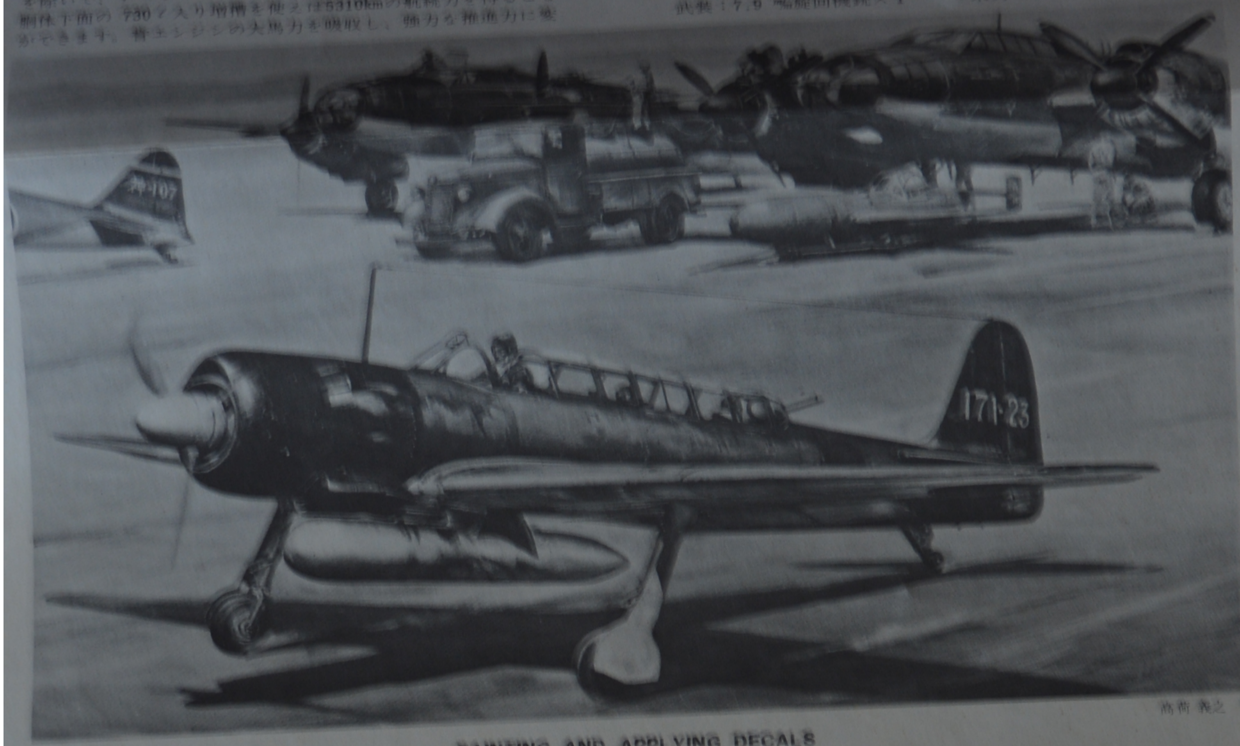
日本海軍艦上偵察機彩雲(さいうん)11型(C6N1)MYRT

THE FAMOUS JAPANESE AIRCRAFT SERIES OF THE WORLD WAR II

1/50 SCALE　THE FAMOUS JAPANESE AIRCRAFT SERIES OF THE WORLD WAR II

その名にふさわしく、美しい姿態をもった彩雲は、太平洋戦争開戦後に設計され、活躍した唯一の海軍機でした。昭和17年6月に、17試艦上偵察機の名称で設計が始められ、翌18年4月には第1号機が完成するというスピードぶりで、開発が進められていきました。試験飛行の結果、最大速度は、海軍の要求値350ノットに対して、345ノットでしたが、これは充分満足できる性能でした。高速化を狙って、前面面積は極力小さくとられ、小型大出力の誉（ほまれ）エンジンのカウリングに合わせて造られた細く長い胴体には、3名の搭乗員のほか、無線機や、偵察用写真機などが、ぎっしり積みこまれています。主翼も高速機にふさわしく、翼面積は、ほぼ同じ重量の天山艦上攻撃機の約3分の2しかなく、親子式ファウラー・フラップや、前縁スラットなどの高揚力装置が装備されています。翼断面は、新設計の層流翼で、厚い外板を使うため、断面の変形が少なく、また、翼の構造材やリベットの数も削減されて、組立てが容易になりました。主脚収容部や、フラップ、補助翼などの動翼部を除いて、すべてをインテグラル燃料タンクになっており、胴体下面の730ℓ入り増槽を使えば5310kmの航続力を得ることができます。誉エンジンの大馬力を吸収し、強力な推進力に変える大型のVDM定速プロペラ。このプロペラとの地上間隔を保ち、5tの機体を支える長い主脚は、彩雲の地上姿勢の一つの特徴となっています。前方へ傾斜しているように見える垂直尾翼は、誉エンジンの強力なトルクをうち消すために左に4°傾けて取りつけられています。本機の実戦参加は、昭和19年6月のマリアナ海戦にさきだったメジュロの高々度偵察が最初で、以後、終戦まで、サイパン、ウルシーなどの偵察に活躍しました。空母はすでになく、艦上機でありながら、陸上基地で使用されました。アメリカ海軍の新鋭戦闘機グラマンF6Fの追撃をふりきって、「われに追いつくグラマンなし」と打電した話は、敵戦闘機に制空権をうばわれ、苦戦していた日本海軍にとって、この上ない朗報でした。

〈彩雲11型の主なデータ〉
全幅：12.50 m　全長：11.00 m　主翼面積：25.5㎡
発動機：中島"誉"空冷複列星形18気筒　離昇出力1825馬力
自重：2968kg　全備重量：4500kg
最大速度：609km/h（高度6100mにて）
航続距離：5310km　生産数：398機
武装：7.9㎜旋回機銃×1　乗員：3名

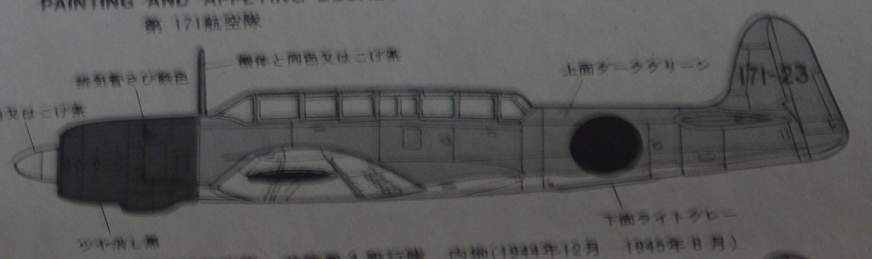


高荷義之 画

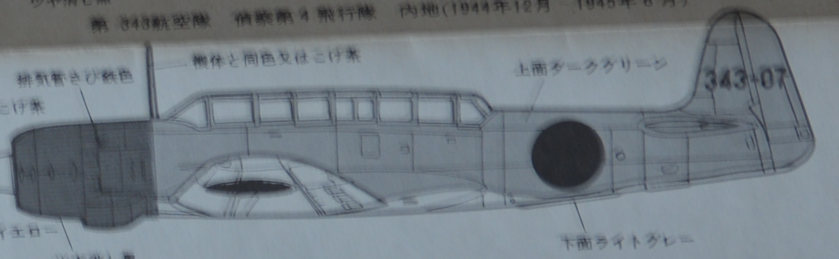
PAINTING AND APPLYING DECALS

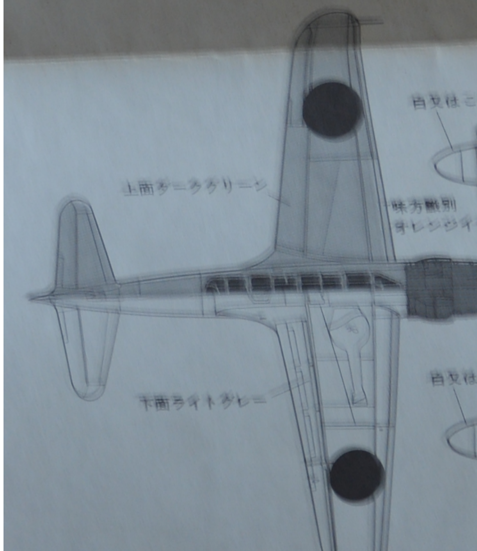
〈塗装の仕方〉
＊プラ模型に色をぬりましょう。＊
小さな部品や接着した後では塗りにくい所等は組み立て前に塗り、筆は細いものを使います。胴体や翼等は平筆の8〜10㎜位の幅のものを使用すると上手に塗れます。塗料はプラスチック用又はエナメル塗料を使用して下さい。

第171航空隊

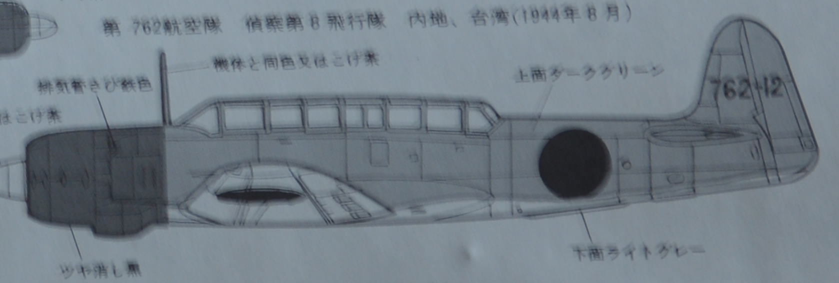

機体と同色又はこげ茶
排気管さび鉄色
白又はこげ茶
上面ダークグリーン
171-23
下面ライトグレー
ツヤ消し黒

第343航空隊　偵察第4飛行隊　内地(1944年12月〜1945年8月)

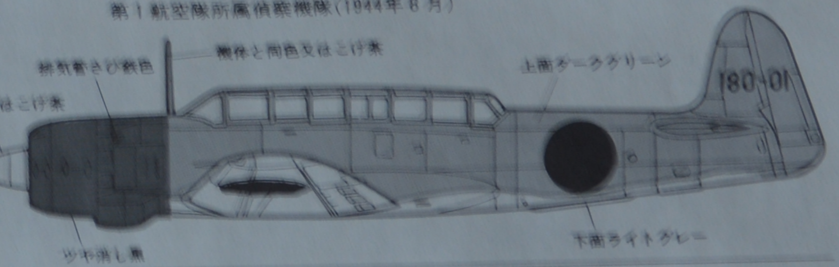

機体と同色又はこげ茶
排気管さび鉄色
白又はこげ茶
上面ダークグリーン
343-07
下面ライトグレー
ツヤ消し黒


上面ダークグリーン
味方識別オレンジイエロー
下面ライトグレー

第762航空隊　偵察第8飛行隊　内地、台湾(1944年8月)


機体と同色又はこげ茶
排気管さび鉄色
白又はこげ茶
上面ダークグリーン
762-12
下面ライトグレー
ツヤ消し黒

第1航空隊所属偵察機隊(1944年8月)


機体と同色又はこげ茶
排気管さび鉄色
白又はこげ茶
上面ダークグリーン
180-01
下面ライトグレー
ツヤ消し黒

〈細部塗装〉
計器板、スイッチボード、レバー——黒
床板——ツヤ消しグレー　無線機、主羅針儀——黒の結晶塗り（黒、緑、銀）
酸素ボンベ——黒　写真機類——グレー
操縦席シート、支持具——青竹色（銀、緑、紺）　シリンダー——黒
プロペラ——表面こげ茶、裏面黒、先端黄帯　スピンナー——銀又は白、茶
機体内部——青竹色（緑、紺、銀）

TAMIYA

彩雲(さいうん)

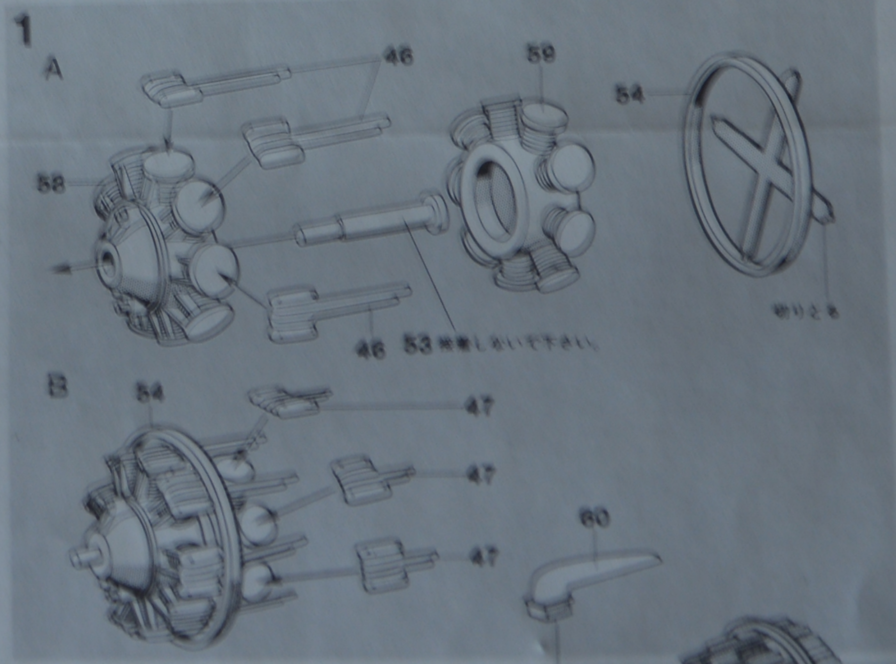
作る前にお読み下さい。
このキットは部品点数が多く機体の内部構造も見ることができます。組み立てる前に細かい部品や機体内部の部品を塗装しておくと便利です。

図—1
Ⓐ—エンジン前部(58)とエンジン後部(59)の間にプロペラシャフト(53)を入れ、エンジン前部(58)と後部(59)を接着します。次にシリンダーヘッド前部㊻を(58)の溝に接着し、リング(54)をはめます。
Ⓑ—リング(54)をはめたらシリンダーヘッド後部㊼を接着します。

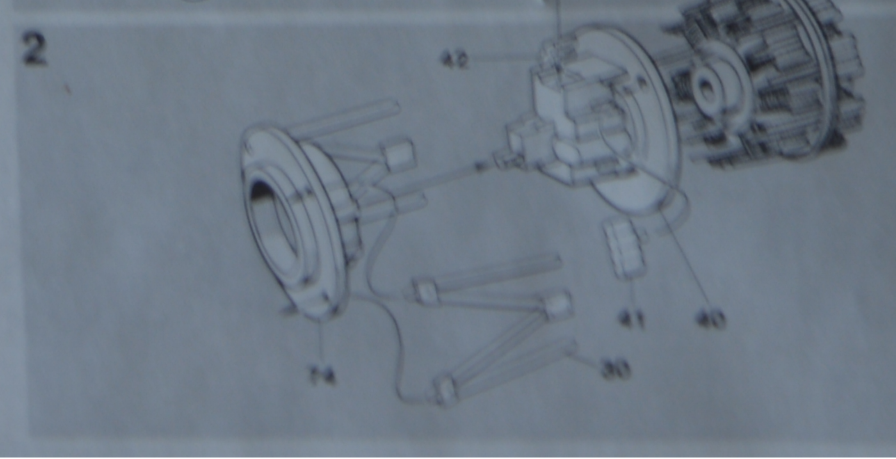
図—2
キャブレター補機部㊵に排気管㊶と㊷、気化器空気取入口(60)をとりつけます。滑油タンク(74)にエンジン架㉚を接着し、完全に乾いたら、組み上った[illegible]と接着します。

[illegible]

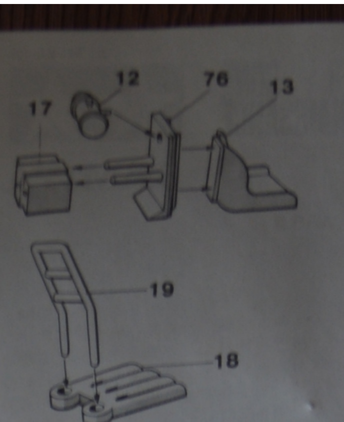
1


A
46
59
54
58
53 接着しないで下さい。
46
切りとる
B
54
47
47
47

2


60
42
74
41
40
30

TAMIYA


17
12
76
13
19
18

図—3
床板㊽に酸素ボンベ⑥と、昇降舵修正輪(67)をとりつけ、それから各部品をとりつけて下さい。

図—4
各部品を図をよく見て接着して下さい。機体内部を見せる様にされる方は、透明胴体(半分)を使って下さい。

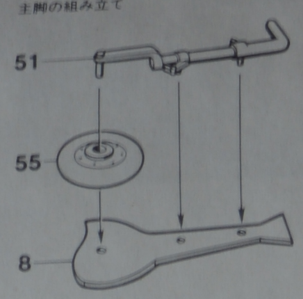
図—5
胴体左側に完成したエンジン、操縦席を接着します。着艦フック㉘と尾輪㊿は可動させることができますので、接着しないで下さい。

図—6
完成した胴体の中へパイロット㊺を入れ、機銃(65)をとりつけた風防を接着します。カウリング及びプロペラは着脱式にできます。

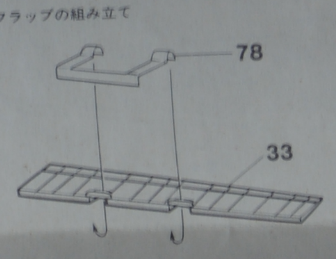
図—7
車輪カバーを車輪カバー止めを使って押えます。主脚も主脚止めを使ってはずれないようにします。フラップ、補助翼は可動しますので接着しないで下さい。

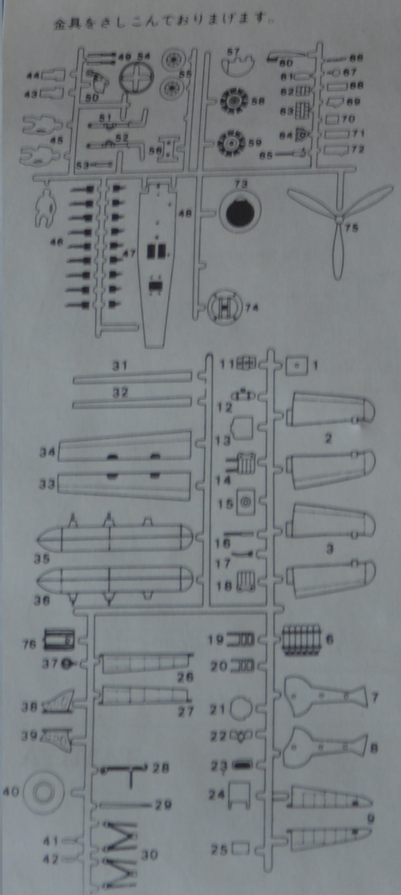
図—8
着陸状態にされる方は㊾を主脚に接着して下さい。スラット㉛と㉜、昇降舵⑨は可動しますので接着しないで下さい。

主脚の組み立て



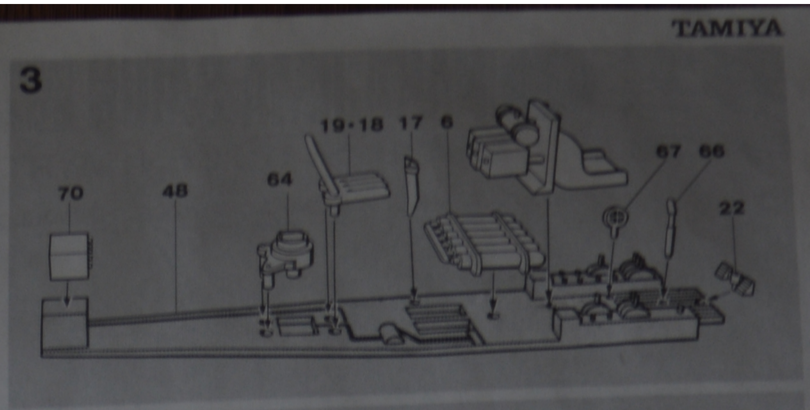
フラップの組み立て



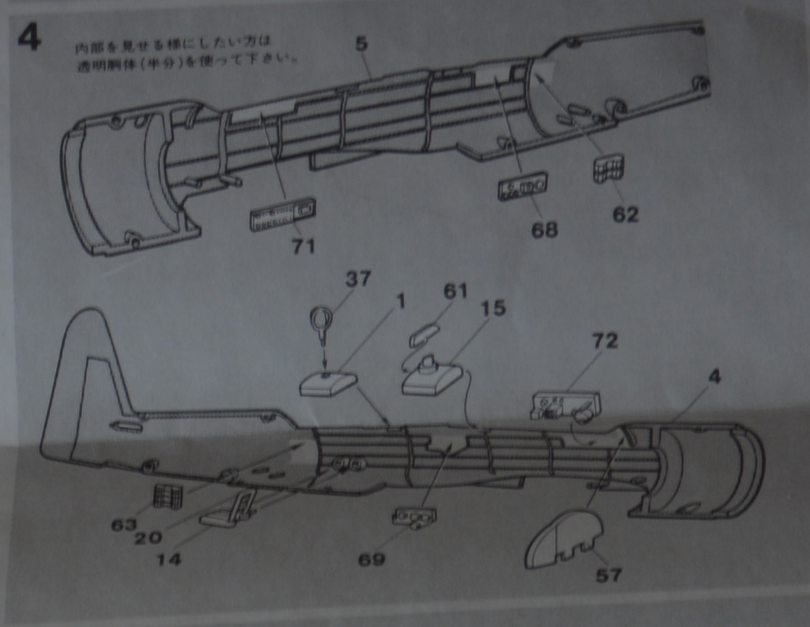

金具を少しこんでおりますます。
31
32
34
33
39
40
41
42
28
29
30
22
23
24
25
8
9

部品表
1. 後部仕切板
2. 水平尾翼(右)
3. 水平尾翼(左)
4. 胴体(左)
5. 胴体(右)
6. 酸素ボンベ
7. 主脚カバー(右)
8. 主脚カバー(左)
9. 昇降舵
10. 主桁
11. 帰投用無線機
12. 自動操縦用油タンク
13. 操縦席
14. 電信席シート
15. 前部仕切板
16. ピトー管
17. 測定器
18. 偵察席シート
19. 背あて
20. 電信席背あて
21. スピンナー
22. フットバー
23. 滑油冷却器空気取入口A
24. 滑油冷却器空気取入口B
25. 滑油冷却器空気取入口C
26. 補助翼(右)
27. 補助翼(左)
28. 着艦フック
29. アンテナ柱
30. エンジン架
31. スラット翼(右)
32. スラット翼(左)
33. フラップ(左)
34. フラップ(右)
35. 補助タンク(右)
36. 補助タンク(左)
37. ループアンテナ
38. 車輪カバー(右)
39. 車輪カバー(左)
40. キャブレター補機
41. 排気管(右)
42. 排気管(左)
43. 主脚押え(右)
44. 主脚押え(左)
45. パイロット
46. シリンダーヘッド(前部)
47. シリンダーヘッド(後部)
48. 床板
49. 主脚オレオ
50. 尾輪
51. 主脚(左)
52. 主脚(右)
53. プロペラシャフト
54. リング
55. 主輪
56. 車輪カバー押え
57. 操縦席計器盤
58. エンジン(前部)
59. エンジン(後部)
60. 気化器空気取入口
61. 偵察席計器盤
62. 弾丸ケース(小)
63. 弾丸ケース(大)
64. 固定航空写真機
65. 7.7㎜機銃
66. 操縦桿
67. 昇降舵修正輪
68. 電信席配電盤
69. 偵察席配電盤
70. 空三号無線送受信機
71. 操縦席配電盤
72. スロットルレバー及び操縦装置
73. カウリング
74. 滑油タンク
75. プロペラ
76. 操縦席スライド部
77. 風防
78. フラップ止め金具
79. 主翼下部
80. 主翼上部(右)
81. 主翼上部(左)
82. 偵察用窓ガラス
83. 偵察用窓ガラス
84. 透明胴体(半分)
85. 透明カウリング

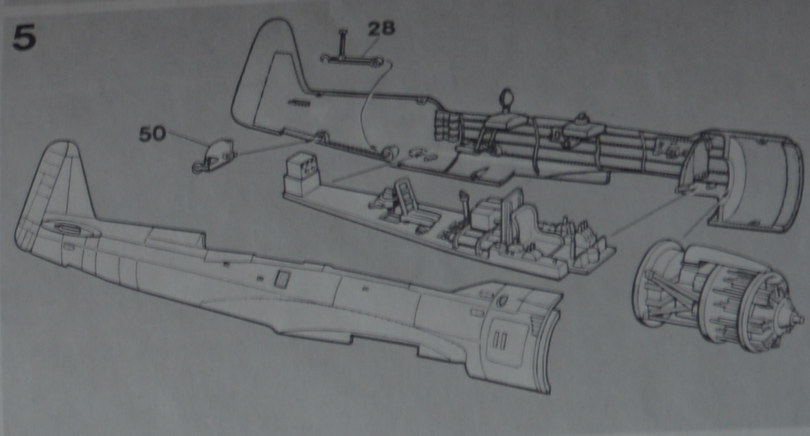
3


70
48
64
19・18
17
6
67
66
22

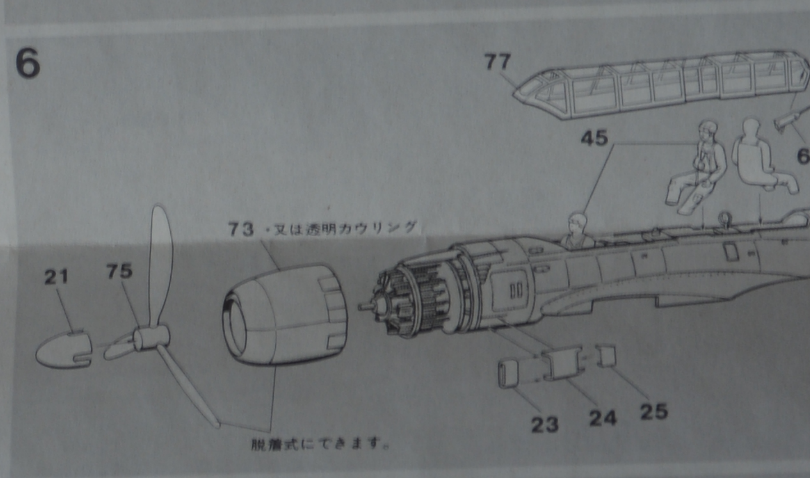
4


内部を見せる様にしたい方は透明胴体(半分)を使って下さい。
5
71
68
62
37
1
61
15
72
4
63
20
14
69
57

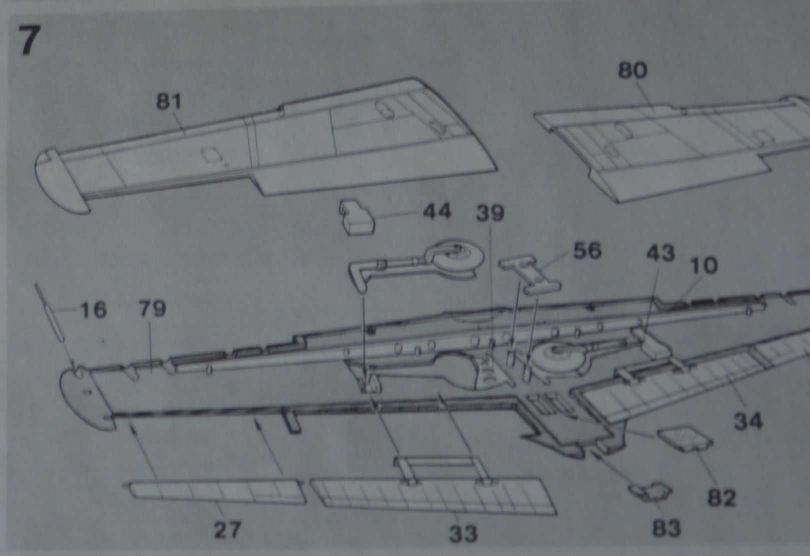
5



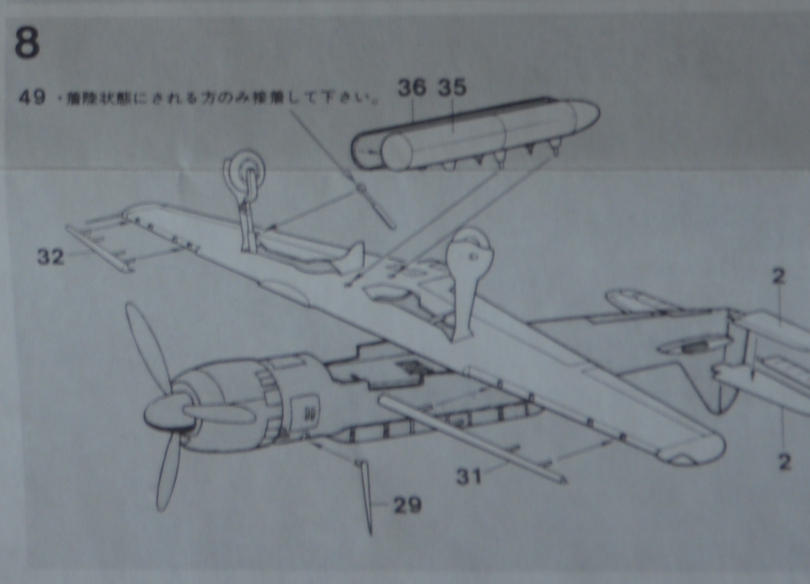
6


77
45
65
73・又は透明カウリング
21
75
23
24
25
脱着式にできます。

7


81
80
44
39
56
43
10
16
79
26
34
82
27
33
83

8


49・着陸状態にされる方のみ接着して下さい。
36
35
32
2
9
2
31
29

静岡市小鹿628　田宮模型